

## リークディテクター比較表

(AIMEX-008XR PRO ・ 主な簡易“ハンディ”タイプのディテクター)

AIMEX-008XR PRO	比較項目	主な簡易(ハンディ)タイプ
赤外線方式	検出方式	赤外線または半導体方式
フロンガス専用	対象ガス	フロンガス(CFC, HCFC, HFC等)用 (もともとフロンガス用として製造されたディテクターだが、電力業界等で絶縁ガスとして使用されているSF <sub>6</sub> ガスや、他さまざまなガス体に反応する)
0.5 ppm, 0.85g/year	測定感度	3g/year (平均)
<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルディスプレイでの数量表示</li> <li>表示単位もppm, g/year, ml/sec, Ppm<sup>3</sup>/secから選択でき、各ガス種毎に自動換算して表示</li> <li>設定した警報点を超えるリークを検知した場合にはスピーカーからのアラーム音で通知</li> </ul>	表示方式および警報	・リークを検知した場合にランプとアラーム音にて通知。
<ul style="list-style-type: none"> <li>SEARCH MODE時: 約20ml/sec</li> <li>MEASURE MODE時: 約5ml/sec</li> </ul>	サンプリング吸引量	約 3 ml/sec
システム内のパラメーターを常時監視していて、異常が起きた場合は“FAULT”(エラー)表示し、メニュー内で異常内容を表示	自己診断機能	なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>赤外線方式のセンサーによりガスの選択性が非常に高いことに加えて、アルコール系物質を除去する弊社独自開発のフィルター(ARF)によって、フロンガス以外のアルコール系物質に対する選択性に優れている。</li> <li>優れた自己診断機能により、常に適正状態での漏れ検査が可能。</li> <li>漏れの“程度”を数量的に判断できる。</li> <li>測定感度が高いことに加え、サンプリング吸引量もハンディタイプに比べかなり多い為、その分リークしたガスを逃す可能性が低い。</li> <li>高感度の為、蓄積法の蓄積時間を短縮でき、作業工数を大幅に減少できる。</li> <li>もともと製造現場での漏れ検査用のディテクターとして製造されたモデル</li> </ul>	メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>安価である。</li> <li>コンパクト設計の為、持ち運びや狭いところでの作業に便利。</li> <li>出張修理等には最適</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高価である。</li> <li>サイズや重量により、簡易タイプと比べると持ち運びや狭いところでの作業が大変。そのため出張修理には不向き</li> <li>プローブホースを長くすると、応答速度に影響する。(5.5mホースで約1.5秒)</li> </ul>	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロンガス以外のアルコール系のガス体にもほとんどに反応する。</li> <li>本体への衝撃や振動による誤反応が目立つ。</li> <li>測定感度が劣ることに加え吸引量が低い為、特に微小リークの見逃しリスクが増える。</li> <li>漏れを発見した場合でも、漏れの“程度”がわからない。</li> <li>自己診断機能がないため、オペレーターが常にディテクターの感度状態を、リーク基準器などと比較して確認する必要がある。</li> </ul>

上記比較表は、エイムスにて資料や経験をもとに比較し作成したものですので、あくまでご参考としてご利用ください。